

浜松現地発!

沢朋之の「俺の話を聞け!」号外

11/3,4,5,6,7

SG 第53回

日本選手権オートレース

観戦ガイド



エンジン・タイヤ・スタート・技術…全てを揃えた者のみが勝つ!



本場へお越しの方は...



2022 浜松オートカレンダー
場内にて絶賛発売中!

開催概要

4年ぶりに浜松で行われる日本選手権オートレース。言わずと知れた全レースOMオープンでの最高峰決戦。前回覇者・森且之の名がメンバーに無いのは寂しいが、5日間の激戦に心が躍る。

初日後半には今回最上位級メンバーによる「選抜予選」が生まれ、ここでの上位着選手が2日目「特別予選」へ。更にここを1,2着で通過すれば3日目は準決勝戦へ全員が進出となる「スーパーライダー戦」が待っている。4日目準決勝戦は8周の長丁場。たとえスタートで立ち遅れても、距離延長を味方に優勝戦圏内まで追い込んでくる選手もありそうだ。

それでもやはりスタート展開が最重要となる選手権。枠番抽選のクジ運も勝利に向けては大切な要素といえ、ランク下位でも好枠先行から押し切る選手が好配当を呼ぶ今年、ここまでのSGを制覇しているのは青山周平、鈴木圭一郎、荒尾聡、篠原睦の4選手。その他の選手においては、年末のスーパースタートリアル戦へ向けてのポイント争奪戦の意味合いもある今回。まずはポイント取得権の生じる優勝戦進出に向け、エンジン仕上げとスタート良化を期して牙を磨く各選手だ。

★SG 日本選手権 勝ち上がり基準

1日目	一次予選 1~9R		選抜予選 10~12R				
2日目	二次予選 1~8R			特別予選 9~12R			
3日目	一般戦 1~3R	準々決勝戦 4~11R		スーパーライダー戦 12R			
4日目	一般戦B 1~4R	一般戦A 5~8R		準決勝戦 9~12R			
5日目	一般戦B 1~4R	一般戦A 5~7R	特別一般戦B 8R	特別一般戦A 9R	選抜戦 10R	特別選抜戦 11R	優勝戦 12R

<1日目>

- 一次予選 (1~9R)
→1・2着が特別予選へ 以下が二次予選へ
- 選抜予選 (10~12R)
→1~4着と5着上位2名が特別予選へ 以下が二次予選へ

<2日目>

- 二次予選 (1~8R)
→1~5着が準々決勝戦へ
- 特別予選 (9~12R)
→1・2着がスーパーライダー戦へ 以下が準々決勝戦へ

<3日目>

- 準々決勝戦 (4~11R)
→1~3着が準決勝戦へ
- スーパーライダー戦 (12R)
→全員 (無事故完走条件) が準決勝戦へ

<4日目>

- 準決勝戦 (9~12R)
→1・2着が優勝戦へ

S級上位選手全国良走路3連対率

1着率 2着率 3着率 & 平均スタートタイミング

※SG日本選手権出場予定選手近1年データ 数字上段:3連対率 下段:近10走平均Sタイミング

青山周平 (S1)	92.8% 0.15
鈴木圭一郎 (S2)	89.8% 0.10
荒尾 聡 (S3)	71.1% 0.16
高橋 貢 (S4)	63.9% 0.12
中村雅人 (S5)	71.9% 0.16
早川清太郎 (S6)	75.9% 0.15
金子大輔 (S7)	51.6% 0.14
伊藤信夫 (S8)	73.0% 0.12
若井友和 (S9)	62.3% 0.17
木村武之 (S10)	67.0% 0.18
佐藤貴也 (S11)	55.1% 0.12
松尾啓史 (S12)	63.1% 0.10
佐々木啓 (S13)	54.5% 0.15
有吉辰也 (S14)	51.1% 0.15
永井大介 (S15)	64.8% 0.11
鈴木宏和 (S16)	57.5% 0.10
山田達也 (S17)	48.2% 0.13
浦田信輔 (S18)	52.1% 0.15
篠原 陸 (S19)	72.1% 0.11
三浦康平 (S20)	58.2% 0.17
佐藤摩弥 (S21)	43.9% 0.20
岩崎亮一 (S22)	48.2% 0.13
丸山智史 (S23)	60.7% 0.12
瀧下隼平 (S24)	58.6% 0.14
西原智昭 (S25)	39.0% 0.19
青島正樹 (S26)	46.9% 0.10
黒川京介 (S27)	38.5% 0.13

各場選手動向

浜松



鈴木圭一郎



金子大輔

今年2つ目のSG 戴冠を狙う地元エース・鈴木圭一郎。近況の車状態は高位安定しており、スタート先行すれば逆転可能な車は見当たらない。むしろ展開遅れた際の追うレースに課題か。この夏は苦戦続きだった金子大輔のエンジンによりやく良化気配見え、スタートに向上あれば持ち前の勝負強さを発揮か。昨年来の大活躍続く伊藤信夫は地元でのエンジン合わせ、佐藤貴也は足周り(ドドド)の解消がテーマだが、共にスタートは好調継続中だ。1000勝達成で波に乗る木村武之、渡邊篤のダッシュ一発に、A級では柴田健治、辰巳裕樹、鈴木一馬らがスタート・道中の車速共に良く、試走タイム次第では先行から押し切り狙えよう。

川口



中村雅人



若井友和

10月当地GIIウィナーズカップを制した中村雅人は、近況スタート力にも底上げあり、優勝争いに加わる可能性十分。当地巧者・若井友和も最終エンジン状態は良かったものの、こちらはスタートが課題となる。一時期の浜松苦手ぶりを解消した永井大介も、近況のエンジン状態なら優出候補の一角に。直近当地普通開催で新品クランク投入から準優勝を遂げた小林瑞季も持ち前のダッシュ力発揮で台風の目的存在となりそうなか、近況スタート完全復活から快進撃続く加賀谷建明にも注目。

伊勢崎



青山周平



高橋貢

今回もV候補最右翼となるS1青山周平に死角なし。全日本選抜優勝戦で魅せた勝負強さは圧巻で、SG連覇に視界良好か。今年後半はやや調子を落としている感のある王者・高橋貢も、直近地元では試走3.26まで出ておりエンジンの的には問題なさそうで、課題はタイヤか。早川清太郎は一時期よりは良化もいまだ当地苦手の感触あり、スタート出ればの狙いが賢明か。三浦康平、西原智昭、吉原恭佑、松本康らにスタート一発の期待も、いずれも1着取り切るにはエンジンに上積み必要となる。

飯塚



荒尾 聡



有吉辰也

今年2月の当地全日本選抜を制した荒尾聡。その後の動きはスタート含めムラ傾向が続いたが、9月全日本選抜優勝戦では本来の動きを見せ、今回もV戦線に加わる位置に。この夏当地出走多かった有吉辰也もエンジン調整優位な状況で、カミソリスタートの切れも上々だ。直近浜松開催で上位の試走タイムを叩き出した浦田信輔だがレース足には不満で、整備状況に注目。悲願のSG制覇を遂げた篠原陸はエンジン・足周りともムラ傾向。A級では高宗良次、中村杏亮ら若手勢の一発に期待したい。

山陽



松尾啓史



佐々木啓

この夏は各地で滑りに苦しんだ山陽No.1・松尾啓史だが、走路が冷えてくるにしたがって1着が増えてきた。近年相性のいい浜松で追い込み勢の中心格となりそう。同じく追い込みが真骨頂の佐々木啓は、ここに向けスタート改革に着手。その成果にも期待だが、追い足としても最上位級の動きがある。角南一如のマクリ追い込みパワーも侮れないが、展開不利な分エンジンに上積み必要か。岩崎亮一、丸山智史、丹村飛竜、前田淳、緒方浩一とスタート巧者が揃い、展開予想以上に意識すべき。

【データ活用法】各選手の1着率・2着率・3着率の偏りにご注目!「この選手は何着を厚めに買えばいいのだろう」といった車券構築の最終段階にご活用ください。